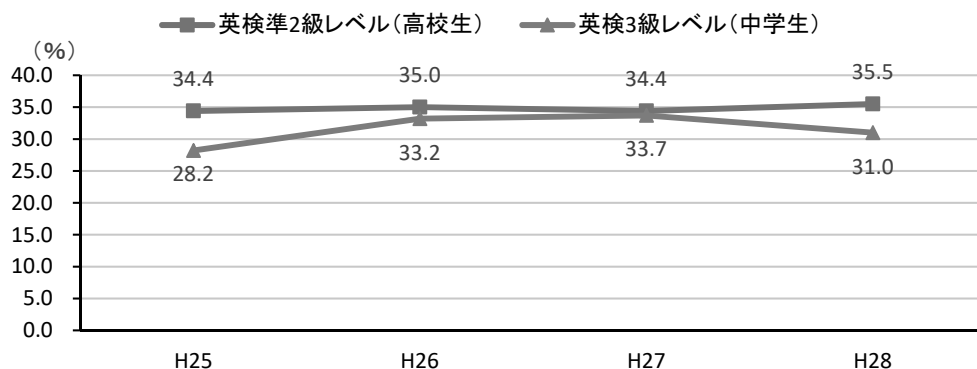


(3) 世界につながる力の育成

現状と課題

- グローバル化が一層進展し、異なる文化を持つ人々とも協働して課題を解決していくためには、外国語によるコミュニケーション能力はもちろんのこと、長野県や日本の歴史文化への理解を深め、日本人としての誇りを持ち、国際人として活躍できる人材の育成が求められています。
- 2020年度から小学校で全面実施される学習指導要領においては、子どもたち一人ひとりが未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むことが求められています。特に、グローバル化の急速な進展により、豊かな国際感覚や外国語によるコミュニケーション能力を身に付けることが重要であり、小学校における外国語教育の充実が示されています。
- 「全国学力・学習状況調査」等を分析した結果、県内の児童生徒の理数科目の学力が文系科目と比較して低く、上位層が薄い状況であり、各種科学オリンピックの県内参加者数が他県に比べて少ないという課題があります。
- 地域や世界に貢献する人材を育成するという成果の視点で高校づくりを考えることがより重要になってきています。

図2-(3) 英語コミュニケーション能力水準の推移



教学指導課調べ

目指す成果

- ◆ 外国語によるコミュニケーション能力の向上と探究的に学ぶ能力の伸長により、日本や世界に貢献できる人材を育成します。

主な施策の展開

世界につながる力を育成するために、次のような取組を進めます。

① 外国語によるコミュニケーション能力の充実・向上

- 小学校及び中学校の外国語学習におけるつながりを意識した指導改善のため、指導主事の学校訪問による支援や、小学校外国語の早期化、教科化に向けた研修会の促進等を図ります。
- 外国語指導助手を交えた実践的な授業により、児童生徒の英語コミュニケーション能力の向上を図ります。
- 国際理解の推進や児童生徒のコミュニケーション能力の育成のため、生徒の海外留学、海外からの教育旅行受け入れ、交流活動等を促進します。
- 大学等と連携し外国語教育の中核となる教員の養成を行い、専門性の向上を図ります。



小学校での外国語活動

② 理数教育・科学教育の充実

- 国内外の大学・研究機関・企業等と連携して行う科学技術に関する研修や、科学オリンピックに挑戦する生徒の実力養成講座等への参加を通して、科学に関する興味・関心を高めるとともに、本県の「ものづくり」・「イノベーション*」を支え、けん引する科学技術人材を育成します。

成果指標

成果指標項目	現 状	目 標	備 考
海外への留学者率（高校生）	0.7% (2015年度)	1.4% (2022年度)	教学指導課調べ
英語コミュニケーション能力水準 ・英語検定3級レベル（中学生）	31.0% (2016年度)	45.0% (2022年度)	教学指導課調べ 中学卒業時に英語検定3級レベルに達する生徒の割合
英語コミュニケーション能力水準 ・英語検定準2級レベル（高校生）	35.5% (2016年度)	45.0% (2022年度)	教学指導課調べ 高校卒業時に英語検定準2級レベルに達する生徒の割合

※ 目標の年次は、本計画の最終年度の実績を評価する2023年度に把握できるものとしています。